

VMware vSphere Data Protection Advanced 5.8

vSphere 向けのシンプルで効率性に優れた迅速なバックアップとリカバリ

概要

VMware 製品と連携する従来のバックアップおよびリカバリソリューションは、コストが高く、時間がかかり、複雑で信頼性が低いものでした。完全な仮想環境への迅速な移行が必要なお客様は、仮想マシンの保護を目的として設計された、信頼性の高いバックアップソリューションを必要としています。

VMware vSphere® Data Protection™ Advanced は、vSphere 環境対応のバックアップ / レプリケーション機能が組み込まれた、バックアップおよびリカバリソリューションです。EMC® Avamar® を基盤としており、特許取得済みの可変長の重複排除機能と、ネットワーク効率に優れ、暗号化されたバックアップデータのレプリケーションにより、高パフォーマンスのデータ保護を実現します。vSphere Data Protection Advanced は、vSphere に最適なバックアップリカバリソリューションです。vSphere Web Client を利用することで、迅速で信頼性の高いシンプルな End-to-End の管理が可能になります。

メリット

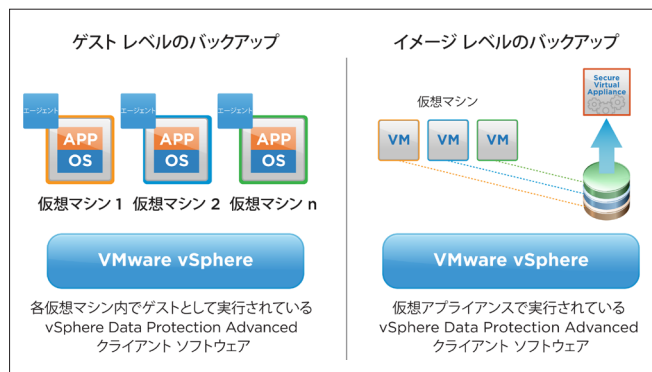
- 仮想マシンと、ビジネスクリティカルな仮想および物理アプリケーションを確実に保護
- ストレージと帯域幅の使用量を最小にすることで、バックアップインフラストラクチャのコストを低減
- バックアップ時間とリカバリ時間を短縮し、アプリケーションの連続稼働時間を最大化
- バックアップサービスを容易かつ迅速にプロビジョニングすることによって、バックアップ操作を効率化し、生産性を向上
- バックアップデータをサイト外に配置することで、サイト全体に障害が発生した場合でもビジネス継続性とコンプライアンスを維持することが可能

VMware vSphere Data Protection Advanced について

vSphere Data Protection Advanced は、vSphere 環境向けに設計された、EMC Avamar ベースのバックアップおよびリカバリソリューションです。vSphere のほとんどのエディションに含まれる vSphere Data Protection の機能を強化し、より優れたスケーラビリティと機能拡張を提供します。仮想アプライアンスごとに平均で 200 台の仮想マシンをバックアップできます。また、数百台の仮想マシンを擁する環境とリモート オフィスを安全に保護し、エージェントを使用しないイメージレベルでのディスクへのバックアップを提供します。また、アプリケーションの整合性を維持したまま、Microsoft® SQL Server™、Exchange™、および SharePoint™ をゲストレベルで保護します。vSphere Data Protection Advanced には、ネットワーク効率に優れ、暗号化されたレプリケーション機能が含まれており、バックアップを複数のディザスタリカバリサイトに複製することができます。

VMware vSphere Data Protection Advanced 5.8 の新機能

- 構成可能な並行バックアップ：
 - 最大 8 個のプロキシを展開することで、ネットワーク、CPU、およびメモリ使用量に影響を与えずに最大 24 個のバックアップを同時に実行できるため、バックアップ時間の短縮が可能
 - SCSI ホット アドを使用して、効率的にデータを転送
- レプリケーションされたバックアップから、任意の場所にリストア：リストアポイントにアクセスして、レプリケーションされたバックアップをプライマリ サイトまたはディザスタリカバリサイトにリストアします。
- Microsoft Exchange のデータベース可用性グループのサポート
- SQL クラスタのバックアップのサポート
- Linux LVM と EXT4 のサポート
- VMware vCenter Server™ 1 ライセンスあたり最大 20 台の仮想アプライアンスのサポート



その他の機能

スケーラビリティ：各仮想アプライアンスは、最大 8TB（平均的なサイズの仮想マシン約 200 台）の重複排除されたバックアップデータを格納できます。vCenter Server 1 台あたり最大 20 台の仮想アプライアンスを展開することが可能です。

重複排除：ほかのバックアップソリューションと比べて、ストレージの使用量を最大で 75 % 削減できます。

- **可変長のセグメント分割：**データは可変長のセグメントに分割されるため、重複排除率が高くなります（ファイルシステムでは平均 99 %、データベースでは平均 96 %）。
- **グローバルな重複排除：**同じ仮想アプライアンスによってバックアップされるすべての仮想マシン間で重複排除を行います。
- **クライアント側で実行：**ゲストレベルのバックアップ、仮想マシンでのエージェントの重複排除、バックアップ時間の短縮と vSphere のリソースを通じたデータ量の削減などはクライアント側で行います。

vSphere APIs for Data Protection (VADP) との連携

- **変更ブロックのトラッキングによるバックアップ：**変更ブロックのトラッキングと可変長の重複排除機能を組み合わせて、変更されたブロックだけを vSphere Data Protection Advanced 仮想アプライアンスに送信します。
- **変更ブロックのリストア：**仮想マシンと最新バックアップ間の差分ブロックだけをリストアすることで、すべてのイメージをリストアする場合と比較して、リカバリ時間が 6 分の 1 まで削減します。

優れたネットワーク効率、セキュアなバックアップレプリケーション：データの圧縮や暗号化のほか、可変長の重複排除をデータの送信元で行うことで、WAN 転送用にバックアップデータを最適化します。

- **複数のレプリケーション トポロジー：**1 対 1、1 対多、および多対 1 構成のレプリケーションが可能です。
- **レプリケーション先を複数サポート：**EMC のバックアップソリューションとの連携により、レプリケーション先を柔軟に選択できます。

- **vSphere Data Protection Advanced：**別の vSphere Data Protection Advanced アプライアンスへのレプリケーションが可能です。

- **EMC データ ドメイン：**vSphere Data Protection Advanced を使用して、Data Domain システム間のレプリケーションを管理します。

- **EMC Avamar：**vSphere Data Protection Advanced アプライアンスから EMC Avamar グリッドへの直接レプリケーションが可能です。

vSphere との連携と簡易性

- **Linux ベースの仮想アプライアンスの展開：**ソリューションのインストール、構成、アップデートを容易にします。
- **vSphere Web Client との連携：**使い慣れたコンソールを使用して、End-to-End のバックアップ管理を行うことができます。
- **仮想マシン検出の自動化：**vCenter Server と同期して、バックアップ用の仮想マシンを自動的に追加または削除します。
- **バックアップ ポリシーの簡素化：**数回クリックするだけで、個々の仮想マシンまたはより大きなコンテナに、バックアップ ジョブを割り当て、特定のスケジュールと保持ポリシーを設定できます。
- **ワンステップ リカバリ：**合成フル バックアップによって、エージェントを使用せずに、仮想マシンのワンステップ リカバリ用のリストア ポイントを容易に確認できます。
- **セルフ サービスによるファイル レベルのリカバリ (FLR)：**ゲスト OS の管理者とアプリケーション所有者は、サポートされているブラウザを使用して個々のファイルやフォルダをリストアできるため、エージェントをインストールする必要はありません。
- **緊急時にホストへ直接リストア：**vSphere ESXi™ ホストへ直接リストアできます。また、vCenter Server 自体を保護することが可能です。
- **きめ細かな .vmdk ファイルのバックアップとリストア：**ストレージの占有量を削減し、リカバリを促進します。
- **ストレージで柔軟にデータを配置：**バックアップ データと仮想アプライアンス OS 用に個別のストレージパーティションを展開できます。
- **既存のストレージから新しいアプライアンスへのマウント：**元のアプライアンスが失われた場合、既存のデータパーティションから新しいアプライアンスへ再マウントします。
- **バックアップの検証を自動化：**ユーザー定義のスケジュールに基づいて個々のサンドボックス環境を自動的にリストアし、マニュアル プロセスなしで回復性を維持します。

ビジネス クリティカルなアプリケーション用のエージェント：軽量なゲスト内のエージェントがアプリケーションのバックアップ用 API と通信し、アプリケーションを認識して、きめ細かなバックアップとリカバリを可能にします。

- **Microsoft SQL Server エージェント：**アプリケーション全体、データベース単位、またはログのみなど、バックアップとリカバリ単位を詳細に設定できます。
- **Microsoft Exchange Server エージェント：**データベースをきめ細やかにバックアップして、データベースまたはメールボックス単位でのリカバリを可能にします。
- **Microsoft SharePoint エージェント：**アプリケーションまたは個々のデータベース単位でバックアップできます。

Volume Shadow Copy (VSS) のサポート：整合性を維持したまま、VSS 対応アプリケーションを実行する仮想マシンをバックアップします。

EMC Data Domain システムとの連携：vSphere Data Protection Advanced をフロント エンドとして Data Domain へのバックアップを行うことにより、スケーラビリティが向上します。Data Domain Boost ソフトウェアでは、バックアップのスループットが最大 50 % 向上し、ネットワークの帯域幅が最大 99 % 低減します。

vSphere Data Protection Advanced のライセンス

vSphere Data Protection Advanced のライセンスは、vSphere ホストに対しては CPU (プロセッサ) 単位で、アプリケーションのデータ保護に使用する物理サーバに対しては、オペレーティングシステム インスタンス (OSI) 単位で付与されます。

- ライセンスが付与されたホストに保護対象の仮想マシンを追加した場合でも、ライセンス コストは追加されません。vSphere ホスト上のすべての CPU、およびクラスタ内のすべてのホストにライセンスを付与する必要があります。
- それぞれの vCenter Server に仮想アプライアンスを追加する場合も、追加のライセンス コストはかかりません。

vSphere Data Protection Advanced のライセンス数は、環境内の vSphere のライセンス数と同じだけ必要となります。

製品仕様とシステム要件

ソフトウェア

- VMware ESX™ または vSphere ESXi 4.1i 以降
- VMware vCenter Server 5.1 以降
- 管理に使用できるのは vSphere Web Client のみです。

製品の仕様およびシステム要件の詳細については、[管理ガイド](#)を参照してください。

詳細情報

vSphere Data Protection Advanced のご購入または詳細情報については、次の Web サイトを参照してください。

<http://www.vmware.com/go/jp-vdpadvanced>

VMware 製品のご購入、または詳細情報については、次の製品 Web サイトをご覧ください。

<http://www.vmware.com/jp/products>

